

2025年度 社会福祉法人 めやす箱 就労部門 事業報告

(1) 概要

法人理念を基に2025年度は、「就労部門の特色強化」、「働きやすい環境づくり」「安定した事業運営」を部門目標に掲げ、部門職員一体となり事業運営に取り組んでいる。

(2) 数値的達成状況

・稼働率

2024年度81%、2025年度80.6%の結果となっている。昨年度と比較し、部門平均稼働率は大きく変動することは無かったが、2026年4月より10名を超える新規契約に至っており、今年度の取り組みにおける大きな成果となっている。今後も稼働率上昇に向けたサービスの質向上、魅力ある取り組みを展開していく。

・平均工賃

2024年度13,658円、2025年度16,344円の結果となっている。施設外就労の増加や単価の変更等々、各事業所が工夫を凝らし取り組んだ結果、前年度と比較し平均工賃を約2,700円向上させることが出来ている。4事業所で報酬区分1段階上昇の結果となっており、2026年度以降も平均工賃向上に取り組んでいく。

(3) 目標に対する取り組み

①就労部門の特色強化

・収入基盤の構築担当

2025年度においては、地域の耕作放棄地の再生作業を行っている。農地を貸していただく農家の方と就労部門管理者とマッチングを行った後、2026年1月より本格的に農地の草や木の除去作業を行っている。2026年度以降は畑の維持をしながら、農作物の栽培、加工、販売を行い、事業所の垣根を超えた工賃向上の取り組みとなるよう努めていく。

・キッチンカー担当

魅力向上による利用者獲得や工賃向上、また商品づくりや販売経験を通して一般就労へのステップアップを目的として、2025年度は商品企画や車両・その他必要物品の購入などの営業許可取得に向けた準備期間とした。2026年度には本格的に始動し、農福連携を図りながら部門全体で工賃向上・魅力強化の基盤づくりを行っていく。

・育成担当

2025年度は、エルダー職員を対象に勉強会、管理者を対象に情報交換会を実施。エ

ルダール職員の勉強会では、人材育成をテーマに講義とグループワークを行う。管理者の情報交換会では、職員一人ひとりのキャリアビジョンを共有、目標管理の立て方について、擦り合わせを行った。2026年度は外部講師を招いた勉強会を実施し、人材育成について学ぶ機会を設けていく。

- ・ 専門性担当

部門全体で基礎知識を身につけ、支援の質のボトムアップを図ること、そして部門全体で議論検討する場を設けることで、互いの視点や支援の引き出しを共有しスキルアップを図ることを目的に、年3回事例検討会を実施。自閉症スペクトラム症に焦点を当て、学習スタイルや冰山モデル等の理解を深めている。各会、法人全体から50名程度職員が参加をし、参加者のアンケートからも、「自閉症スペクトラムについて学びなおす良い機会となった」、「グループワークで、他事業所、他部門の方から意見をもらったことで、新しい視点や支援のアドバイスを貰えた」等の感想が多く聞かれている。

- ・ 特色担当

就労部門9事業所合同でご利用者が主体となり参加できるイベントを年間6回企画、運営を行った。各回120名程度のご利用者に参加していただき、喜びの声を多く聞くことが出来た。また、2月に家族交流会を実施し、27名のご家族に参加いただいた。ご家族同士の交流、思いやニーズを共有する場となり、有意義な会となった。次年度も引き続きイベントを計画し、サービス満足度の向上に繋げていく。

- ・ 情報担当

各事業所の作業内容や作業環境、支援内容、行事の様子等、ご利用者やご家族、関係機関（相談支援機関や支援学校）に知ってもらうことを目的に部門通信を毎月1~2号発行している。部門通信を通じて、部門や事業所の理解に繋がり、満足度も高めることが出来ている。今後も継続して、部門通信を発行し、部門や事業所の魅力を発信していく。

②働きやすい環境づくり

- ・ 2022年度から実施している職員向けの業務改善アンケートを6月、12月、計2回実施している。アンケート結果を基に、管理者やサビ管、必要に応じて現場職員との業務改善に関する個別面談の機会を設け、事業所の課題抽出、共有を図っている。
- ・ 2023年度、2024年度と続けて新規事業を展開した為、人事異動、新規人材採用、作業開拓に追われ、業務過多の状況が見られていたが、業務精査、業務削減を毎年検討項目として取り組み、業務改善に繋げることができている。業務改善アンケート結果からも満足度向上の結果が得られている。
- ・ 部門勉強会、他事業所見学等、部門内他事業所の職員と接点を持つ機会が増え、互いの事業所の情報共有を行う機会が増大、他事業所の良い取り組みを自事業所に持ち帰りフィードバック出来る機会となっている。今年度は大きな成果とまではいって

いないが、今後もこのような機会を継続し職員の働きやすさと繋がるよう努めていく。

③安定した事業運営

年度当初に設定した目標、部門平均稼働率：88%に関して達成の見込みが困難であると判断したため、年度途中で目標を再設定。目標を82%とし、2025年度の運営に尽力したが最終結果は80.6%となっている。目標を達成できなかったことに関しては重く受け止め、2026年度以降は目標が達成できるよう営業や取り組みの強化を図っていく。2026年度は、4月より部門で10名を超える新規ご利用者の方と契約しているが、これに甘んじず、選んでいただける環境づくりを進めていく。

(4) 運営体制状況

- ・ワークスめやす箱、いっぽいっぽ、コンパス、つむぎ、就労センターかなで、みのり、計6事業所が本体報酬区分を1段階アップさせている。
- ・キッチンカー購入：2025.9

(5) 年間活動内容

4月	部門会議 部門エルダー勉強会 部門管理者情報交換会 就労部門通信 VOL.14 発行
5月	部門会議 就労部門合同ボウリング大会 就労部門通信 VOL.15 発行
6月	部門会議 業務改善アンケート 就労部門通信 VOL.16.17.18 発行
7月	部門会議 事例検討会「自閉症スペクトラム症について」 就労部門管理者情報交換会 就労部門通信 VOL.19 発行
8月	部門会議 就労部門通信 VOL.20.21 発行
9月	部門会議 就労部門干支イラストコンクール 就労部門通信 VOL.22 発行
10月	部門会議

	就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ・フライングディスク） 就労部門エルダー勉強会・意見交換会 就労部門通信 VOL.23 発行
11 月	部門会議 事例検討会「問題行動の解決について」 就労部門合同スポーツ大会（ウォーキング） 就労部門通信 VOL.24.25 発行
12 月	部門会議 業務改善アンケート 就労部門通信 VOL.26.27 発行
1 月	部門会議 就労部門通信 VOL.28 発行
2 月	部門会議 事例検討会「冰山モデルシートの活用」 家族交流会 就労部門通信 VOL.29.30 発行
3 月	部門会議 事業所研修発表会 就労部門合同お疲れ様会 就労部門通信 VOL.31 発行

（４）今後の課題

- ・次年度より、めやすばこ・ぶる一むが就労部門の管轄となり 10 事業所の運営となる。安定した運営を図っていくためにも稼働率の安定が必須となるため、更なる営業強化や付加価値の高い（魅力的な）取り組みの継続的な追求が必要である。
- ・現利用者が満足して長く利用していただけるよう、満足度の高いサービス提供をするとともに内容の充実を図る必要がある。各経営戦略担当での取り組みを継続、発展させ満足度の向上や新規利用者の獲得に繋げていく。
- ・育成の土台である「指導側」の成長を促し、安定した育成体制を整えていく必要がある。育成担当を主軸とし、管理層、エルダー職員の育成能力向上に注力していく。
- ・作業収入、平均工賃に関して、年々向上はしているが引き続き取り組んでいく必要がある。収入基盤担当を主軸に作業開拓を進め、安定した収入財源を確保できるよう取り組んでいく。特に農福連携に注力し、景気に左右されない収入基盤を整えていく。

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

いっぽいっぽでは、健康管理に対するニーズが多くあり、ご家族と連携し一人一人の目標を定め、毎月体重測定を実施しました。又、日中に30分～1時間程度『健康作りクラブ』の時間を設け、週1～2回程度、ウォーキングや体操、ダンスなど実施しています。地区の公民館や公園を借りて、フライングディスクなどのスポーツにも取り組んでいます。ご利用者からは楽しみとの声を多く聞くことが出来、対外的にPR活動を行ったことで、外部の関係機関からも良い反応を頂いています。

昨年度に引き続きニーズ調査を実施し、行事活動に対する要望を基に年間計画を作成、実施して参りました。石臼を使った餅つき大会や吹屋でのべんがら染め体験等、新しい試みにも挑戦し、毎月実施したことで、働く励みになっているとご家族からお話を頂いています。

作業においては、ペットフードの請負作業の受注量減少を受け取引を終了し、新たにゴムのバリ取り、無人フィットネス清掃を2店舗契約し、作業を開始しました。作業の効率化とスキルアップに取り組み、どちらも月10万程度の売り上げを安定して得られるようになっていきます。商品作りにおいても、新たな商品としてシフォンケーキを法人内にて販売するとともに、学区内のすべてのイベントに積極的に参加し、ご利用者の販売機会を増やすとともに、売り上げも前年度比145%と成果を上げることが出来ました。平均工賃額も2024年度16,737円⇒2025年度18,069円と向上しています。

② 働きやすい環境づくり

昨年度に引き続き、業務改善アンケートを年2回実施し、アンケート結果に基づいて取り組みを行っています。職員間の連携、情報共有の不足が課題として挙がり、職員会議での勉強会の実施や個別面談による聞き取り、指導を行ってまいりました。環境改善として、職員休憩室の設置やロッカー、書庫等必要備品の購入整備にも積極的に取り組み、業務効率アップや過ごしやすい環境づくりに繋がっています。年度中2名のパート職員の退職があり、風通しの良さや待遇の不一致等が要因として考えられます。長く勤められる職場となるよう、一人一人のキャリアを見据えた育成指導に取り組んでまいります。又、現場の意見を吸い上げ、働きやすい職場を自分たちで作っていけるような風土を築いてまいります。

③ 安定した事業運営について

2025年度中、新規契約者4名、退所者4名（他法人A型1名、B型1名、生活介護1名、サービス

終了1名)、年間平均稼働率 103.7%という結果でした。特色作りと PR 活動に取り組んだ結果、支援学校実習生 2 名の受け入れと、内 1 名は 3 年次前提実習を行うこととなりました。契約利用者も概ね安定して利用されており、稼働率も高い水準で維持することが出来ています。引き続き、利用者が満足して楽しく通える事業所作りと、魅力の PR 活動に取り組んでまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援 B 型 実人数 (月：定員 20 名) (単位：名)

	2025 年										2026 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
実績数	435	435	433	461	409	432	488	453	482	490	441	466	5425	

(2) 利用 (開所) 状況 (単位：日)

	2025 年										2026 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
開始時間	9:00													
終了時間	15:00	22	22	22	23	21	22	26	23	22	23	20	22	268

(3) 職員の状況 (2026 年 3 月 31 日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)		2	2	5
非常勤職員			1	2		3

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026 年 3 月 31 日現在)

A 勤：7：45～16：45 8 時間 (60 分休憩)

B 勤：8：00～17：00 8 時間 (60 分休憩)

C 勤：8：45～17：00 7.5 時間 (45 分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4 月	岡山後樂園にてお花見、ありがとうファーム (就労継続支援 A 型事業所) にてオムライスを喫食。
5 月	就労部門合同ボウリング大会に参加、さざなみうどんにて昼食を喫食。
6 月	きびじアリーナにてフライングディスク体験会を実施。
7 月	コーヒーハウスワンダタイムにて食事会を実施。
8 月	中華食堂香港餃子坊にて昼食、ハニービーにてカラオケ大会を実施。
9 月	事業所にて、タイルコースター製作体験を実施。

	夏祭り（カレー、フランクフルト、たこ焼き、ポップコーンの調理。スーパーボールすくい、わなげの縁日体験）
10月	吹き屋ふるさと村にてべんがら染め体験を実施。 就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング）に参加。
11月	美観地区にてクラフト体験（ストラップ作り・キャンドル作り）を実施。
12月	忘年会（遊食房屋にて会食、事業所にてビンゴ大会）を開催。
1月	事業所にて、お雑煮の調理、餅つき大会を実施。
2月	ハニービーにてカラオケ大会を実施。
3月	コーヒーハウスワンダタイムにて食事会を実施。

4. 施設整備

① ノートパソコン購入 2025年8月1日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	126,926	器具及備品取得支出	126,926
計	126,926	計	126,926

② エアコン購入及び移設工事 2025年9月22日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	255,090	器具及備品取得支出	255,090
計	255,090	計	255,090

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記 3 つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2025 年度も「工賃向上」「行事の充実」が要望として挙げられました。工賃向上については、新たに倉敷ふれあいの丘公園の屋内と屋外のトイレ清掃を開始しました。オープン・セサミでは、アパート清掃や財務局清掃など、掃除を中心とした施設外就労を行っています。日々、事業所内の清掃を行う中で、正しい道具の使い方やトイレ清掃を行う手順などが定着出来るよう支援を行い、工賃向上だけでなく、個々のスキルアップにも繋げることが出来ました。また、各ご利用者が意欲的に作業に取り組むことが出来るよう、本人の様子に合わせて、作業配置や作業工程の調整を行うことで作業時間が伸び、作業スピードも高めることが出来ました。2025 年度の目標平均工賃 12,000 円を超えることができ、2026 年度も個々のスキルアップに向けた支援を行い、仕事のやりがいや楽しさを感じながら、さらなる工賃の向上に繋がるよう努めてまいります。行事については、前年度好評であった体験型の行事を中心に実施しました。参加された皆様からは「やってみると楽しかった」「またやってみたい」等といった返答をいただきました。2026 年度も就労や生活支援に繋がる満足度の高い行事を企画してまいります。

② 働きやすい環境づくり

職員に実施した業務改善アンケートの中で「情報共有」が課題として挙げられました。ご利用者支援では、ご利用者の変化や気づきを終礼で共有、協議するだけでなくより深く支援について考えることが出来るよう職員会議の中でケース検討を行う機会を作りました。支援で悩んでいるケースを職員全員で考え、統一した支援を行うことで各職員が安心して支援を行うことができ、ご利用者にとっても良い変化をもたらすことが出来ました。また、毎月職員と面談を実施し、その中で現在困っていることや悩んでいることなどの確認を行いました。解決が必要な案件は早急に改善策を検討し、実行することで不安解消に繋がっています。定期的に話を聞く機会を設けることで、職員からも「相談がしやすくなった」などの意見を聞くことができ、働きやすさに繋げることが出来ました。2026 年度も引き続き、「共有」を事業所のテーマとして掲げ、働きやすい職場環境の推進に取り組んでいきます。

③ 安定した事業運営について

2025 年度も継続した営業活動を行うことで 3 名新規契約を結びことが出来ました。その反面、3 名が退所となった為、定着に向けた支援が課題となっております。現在契約しているご利用者に対して、

休憩時間や面談を活用したコミュニケーションの機会を重視し、日常会話や仕事に関する話を交えながら、関係性と信頼関係の構築に努めていきました。会話の中から得たご利用者の思いや要望を反映させることで、ご利用者の精神的安定や作業意欲の向上に繋がり、月間皆勤賞を取る方も増えています。2026年度も事業所の特色強化や支援力向上を図り、選んでいただける事業所となるよう事業所内外へと働きかけていきます。今後も通所していただいているご利用者とのコミュニケーションを密に行っていきながら、ご利用者・ご家族の皆様安心して来所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	375	375	350	366	311	346	397	349	355	369	335	360	4288	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	24	22	22	22	20	22	263	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2026年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	4
非常勤職員				4		4

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

- A勤：8：30～17：00 8時間（60分休憩）
- B勤：9：30～16：15 6時間（45分休憩）
- C勤：8：45～17：00 7.5時間（45分休憩）
- D勤：9：30～16：30 6時間（60分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見（酒津公園）
5月	買い物（イオン倉敷）
6月	消防署見学（倉敷消防署）

7月	お楽しみ弁当
8月	流しそうめん体験（麵蔵人）
9月	外食：食事マナー（CHALLENGED）
10月	就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング）
11月	ピザ作り（フルーツトピア）
12月	クリスマス会：事業所内でカラオケ、ビンゴゲーム
1月	餅つき、書初め
2月	非常食体験、買い物（イオン倉敷）
3月	いちご狩り（農マル園芸）

4. 施設整備

① 特に購入はありません。

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金		器具及備品取得支出	
計		計	

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2025年度は事業所の見える化を図るべく、上半期は事業所で行っている作業内容について詳細に記した事業所通信の発行をしました。ご利用者が作業をしている写真を掲載し各工程の説明、ご利用者一人ひとりがどの工程に携わっているかをご家族にお伝えすることで、作業に取り組んでいるご利用者の姿や作業内容にイメージを持っていただけるよう工夫しました。また、作業工程を理解いただいたうえで、ご家族やご利用者本人からの取り組んでみたい工程や作業について聞き取りを行い、実際に取り組んだ様子や結果を丁寧にお伝えすることでご家族との情報共有がより密になり満足度向上に繋がりました。

また、下半期には上半期の取り組みを経て、実際に事業所へ足を運んでいただけるよう約3か月間の期間を設け、1日1家族の事業所参観を実施しました。実際に作業の様子を見ていただいたり、一緒に体験をしていただいたりすることで作業理解度が向上したと実感しております。また、1対1ということもあり、普段聞くことのなかったご利用者のご家庭での様子や得意なことなどを知る機会にもなり、今後の社会性支援や就労支援の課題やヒントを得ることもできました。引き続き、ご利用者・ご家族、事業所の連携を図りながらよりよい支援につなげられるよう努めてまいります。自事業所の強みでもある自社製品づくりにおけるご家族を交えたワークショップの実現が果たせなかったので、2026年度に企画し、特色を活かしたサービス提供を実行していきます。

② 働きやすい環境づくり

2025年度は職員異動や受注作業の変動もあり、年間を通して情報共有が課題となりました。不満に繋がらないよう連携不足を感じられた時には職員間で意見を出し合い、全員で改善を繰り返していきました。現在も作業種の多さから時折連携不足が見られますが、情報共有できるようツールの改定やルール決めをしたことで、職員一人ひとりが責務を認識し行動することで働きやすさに繋がっています。また、業務量については職員異動などで担当変更などもあり、変動することが多かったですが、各々の担っている業務を周知することで、必要に応じて気配り・心配りを職員間で行いながら滞ることなく遂行できています。また、職員の強みを活かした担当業務割りをしたことで、職員全員が主体的に行動できるようになりました。2026年度も職員の能力を発揮できる職場環境づくりに努めてまいります。

③ 安定した事業運営について

2025年は下半期にかけて受注作業量の大幅な減少があり、新たな作業確保を行うことが最優先でSNS（Instagram）での積極的な営業活動の実行があまりできませんでした。作業提供が難しい日には体力面向上のための散策、また他の日にはご利用者と1：1で作業訓練時間を設け、アセスメントを行いつつこれまで携わっていなかった作業や工程への挑戦する機会を積み重ねていきました。そのような日々の支援やご利用者自身の努力により、ご利用者一人ひとりの能力向上や能力開発を図ることができ、作業効率も向上していきました。また、ご利用者全員が携わることのできる作業開拓を職員間で検討し、2025年度末からトマト栽培を始めています。既存作業の受注量の減少や新たな作業の導入などで工賃支給額は前年度よりも低下したものの、作業幅の広さから個々に合った作業提供ができることで、ご利用者やご家族からは満足度の高いお声をいただいております。

さらに、2025年度は相談支援事業所からの紹介で新規利用者の獲得に至っています。事業所の特色が浸透してきているため、引き続き、相談支援事業所や支援学校との情報共有や連携を密に行い、SNS（Instagram）を活用した営業活動もあわせて行っていきながら、ご利用者の皆様がやりがいや達成感を体現し、安心して楽しく通所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数（月：定員20名）（単位：名）

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	417	381	392	414	341	368	442	391	404	390	379	425	4744	

(2) 利用（開所）状況（単位：日）

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9：00													
終了時間	15：00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

(3) 職員の状況（2026年3月31日現在）（単位：名）

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	4
非常勤職員				4		4

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A勤：7：30～16：30 8時間（60分休憩）

B勤：8：00～17：00 8時間（60分休憩）

C勤：9：30～16：30 6時間

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見（酒津公園）
5月	バグギー体験・お楽しみ弁当
6月	買い物活動（マルナカ）
7月	映画鑑賞（事業所内）
8月	夏祭り
9月	カラオケ（事業所内）
10月	製作活動（クリスマス飾り） 就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング）
11月	染め物体験（みのり）
12月	クリスマス会
1月	初詣（吉備津彦神社）
2月	買い物活動（マルナカ）
3月	おつかれさま会（外食）

4. 施設整備

① 公用車購入（スズキエブリイバン） 2025年6月30日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	549,290	車輻運搬具取得支出	549,290
計	549,290	計	549,290

② ポータブル電源購入 2025年10月14日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	215,878	器具及び備品取得支出	215,878
計	215,878	計	215,878

③ 公用車購入（トヨタノア） 2026年1月31日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	876,920	車輻運搬具取得支出	876,920
計	876,920	計	876,920

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

サービス満足度調査に挙げた意見要望として、工賃向上や行事の充実が部門や事業所の課題と捉え、職員間で話し合い具体的な改善まで行いました。工賃向上に関して、2024年度まで就労継続支援A型で実施していた外注作業を精査し、除草やハウスクリーニング、エアコン洗浄や床洗浄等、主に清掃関係の施設外就労をB型でも引き続き取り組みました。また、作業内容によっては法人内他事業所と連携して作業を受注し、作業効率を上げて対応することで高単価の作業も継続して受けることが出来ました。結果、2024年度の平均工賃月額21,088円を大きく上回り、2025年度は平均工賃月額25,639円となりました。行事の充実では、毎月1回以上の行事を企画、実施し参加された皆様からは「楽しかった」「また参加したい」等と返答をいただきました。2026年度も就労支援に繋がる満足度の高い行事を企画してまいります。

② 働きやすい環境づくり

職員の退職や新職員の入社もあり、上半期に実施したアンケートでは情報共有・連携不足が課題として挙がりました。チームワークの向上や課題解決を目指し、毎月職員会議にて業務改善案を職員から募り、改善策を検討する時間を設ける等、働きやすい環境作りに取り組みました。年度末に実施したアンケートでは、チームワークの向上により以前より働きやすくなったと意見が挙がりました。また、情報共有に関しての課題については、職員朝礼を行う、欲しい情報はグループラインで流す等、連携強化の取り組みを行いました。次年度も職員体制は変更が予定されている為、働きやすい職場環境の推進に取り組んでまいります。

③ 安定した事業運営について

2025年度より利用定員が10名から20名に変更となり、月平均67.4%程度の稼働率となりました。年間で新規ご利用者4名、退所者0名、契約者数は16名となっています。2026年度も事業所のさらなる特色強化や支援力向上を図り、選んでいただける事業所となるよう引き続き、事業所内外へと働きかけていきます。また、通所していただいているご利用者との定期的な面談や欠席時等の連絡を密に行っていきながら、ご利用者の皆様に安心して来所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	297	310	306	320	268	280	307	299	282	310	252	307	3538	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2026年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1		2	1	5
非常勤職員			2			2

※管理者は、就労支援 はれる管理者と兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

A勤：8:00～17:00 8時間(60分休憩)

B勤：8:30～17:30 8時間(60分休憩)

C勤：9:00～15:45 6時間(45分休憩)

D勤：9:30～16:15 6時間(45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見：酒津公園
5月	就労部門合同ボウリング大会：アミパラボウル
6月	親睦会：すたみな太郎
7月	買い物：アリオ倉敷
8月	外出：ライフパーク倉敷科学センター
9月	外出：農マル園芸(ピザ作り体験)
10月	外出：美観地区・就労部門合同スポーツ大会
11月	外出：笠岡ベイファーム
12月	クリスマス会：事業所内でスノードーム作り、すたみな太郎で夕食
1月	餅つき、書初め

2月	調理活動：カップケーキデコレーション
3月	お楽しみ弁当

4. 施設整備

① 特に購入はありません。

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金		器具及備品取得支出	
計		計	

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

賃金向上については、2025年度より倉敷ふれあいの丘公園の植栽作業を開始しました。コンパスの施設外就労としては草取りや畑に特化した作業を中心としていましたが、倉敷ふれあいの丘公園は木の水やりがメインの作業となっています。新たな作業内容に挑戦し、ご利用者の仕事の幅を広げることが出来ました。また、不定期での施設外就労が多かったが、コンパスとして初めての週1回定期施設外就労ということで、安定した作業収入に繋がりました。内職作業のゴムケンについても、2025年度よりバリ材料の注入口をカットし搬出することで、単価アップに繋げることが出来ました。バリ材料の注入口カットについて現在は職員がメインで実施していますが、多くのご利用者が工程を担えるよう練習を進め、スキルアップを図っていきます。行事については、以前より要望が挙がっていた日帰り旅行を実施しました。ご利用者・ご家族にアンケートを行い、行き先を決定しております。ドイツの森へ行き「体験」と「散策」2つのコースを設け、ご利用者に自己決定していただける機会を設けました。日帰り旅行については、引き続き要望が挙がっているため、2026年度も実施予定としています。2026年度もご利用者・ご家族の要望を聞き、ご利用者が自身で意思決定出来る機会を設けていきます。

② 働きやすい環境づくり

職員に実施した業務改善アンケートと毎月の会議の中で業務改善について議題として取り上げました。ご利用者の支援について、不安を抱える声が挙がった際にはご利用者の作業環境の変更（椅子を購入）や送迎時の職員体制、相談機関を交えたケース会議の開催を行いました。また、職員の家庭環境の変化による勤務時間の変更については、勤務調整を行い可能な限り負担なく勤務ができる体制を整えました。その他、終礼時間の前倒しを行い、定時に勤務が終えられるよう調整を行ったことで、残業なく終わることが出来ています。連携不足についての声も聞かれたため、①朝礼・終礼ノートの改定を行う②予定や職員の駐車位置を視覚化したボードを作成しました。そのため、現在では連携不足による声は聞かれていません。2026年度も職員の声や気づきに耳を傾け、早急に対応し働きやすい環境作りに取り組んでいきます。

③ 安定した事業運営について

2025年度について、新規ご利用者と契約には至りませんでした。しかし、退所者もいなかったため、現在ご利用いただいているご利用者を大切に、長くご利用していただけることが重要と考えま

す。引き続き営業活動は継続していき、2026年度は新規ご利用者獲得を目指していきます。それに加え支援学校実習生の受入れを積極的に行い、コンパスでしか出来ない経験（施設外就労や創作活動など）を提供し「また来たい」「利用したい」と思ってもらえるような実習プログラムを組んでまいります。すぐに成果とならない可能性はありますが、数年後の利用に繋がるようおもてなしを行います。2026年度も現在ご利用いただいている方に満足していただけるサービスを提供し、今後も長く安心してご利用いただけるよう、ご利用者・家族と関係を構築していきます。また、外部との繋がりを作り横の関係づくりを積極的に行っていきます。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数（月：定員20名）（単位：名）

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	362	350	371	391	350	359	359	357	370	369	333	371	4342	

(2) 利用（開所）状況（単位：日）

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況（2026年3月31日現在）（単位：名）

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	4
非常勤職員				4		4

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A勤：8:00～17:00 8時間（60分休憩）

B勤：8:15～17:00 8時間（45分休憩）

C勤：8:00～15:45 7時間（45分休憩）

D勤：8:30～15:30 6時間（60分休憩）

F勤：8:15～16:00 7時間（45分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見（灘崎町運動公園）
5月	就労部門合同ボウリング大会、避難訓練（火災）

6月	グループ別外出活動（すたみな太郎）
7月	避難訓練（水害）
8月	夏祭り（事業所内でレクリエーション）
9月	レクリエーション（ボッチャ）
10月	就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング） ハロウィンパーティー（事業所内で仮装、ケーキを食べる） 避難訓練（震災）
11月	日帰り旅行（ドイツの森）
12月	クリスマス会（事業所内で創作活動）
1月	初詣（熊野神社） 避難訓練（不審者）
2月	グループ別外出（日本一の駄菓子屋）
3月	お食事会（ジョイフル）

4. 施設整備

- ① 特に購入はありません。

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金		器具及備品取得支出	
計		計	

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2024年度のサービス満足度調査より「工賃向上」、「挑戦出来る作業種の拡充」が要望として挙げられました。どちらの要望についても、これまでにあまり挑戦の機会が無かった内職作業や作業工程への挑戦、施設外就労への積極的な参加機会を設け取り組んで参りました。各ご利用者の現状を洗い出し、アセスメントや要望を取り、次はどの作業へ挑戦していくのかを事業所全職員で考え実践した結果、昨年度よりも多くのご利用者が様々な作業に取り組むことが出来、2025年度の満足度調査や面談時に「工賃が上がって嬉しい」「〇〇の作業が出来るようになった」等、前向きな感想を数多くいただくことが出来ました。また、2025年度は平均工賃額が15,000円を上回る事が出来ており、作業収入の増加、作業効率の向上にも繋がった年となっております。

また就労センターかなででは以前、就労移行支援・自立訓練事業を運営していた際の「調理訓練」「外出訓練」「買い物訓練」を現在もサービスの一環として、継続しております。外出訓練、買い物訓練ではこれまでに挑戦出来ていなかったご利用者にも挑戦していただく機会を設け、調理訓練では今年度より、ご利用者同士でペアを組んでいただき「協力して献立作成や調理を行う」ことをテーマに取り組んでいただきました。訓練系のサービスは就労センターかなで特有の取り組みであり、毎年多くの温かいお言葉をいただいております。また、訓練を経て「家でも調理の手伝いができるようになった」「自力通勤する力が付いた」等、ここ数年で訓練の成果が多く表れております。今後も就労センターかなでの特色として取り組んで参ります。

昨年度より実施している就労部門合同のイベント等も大変好評を得られました。2026年度においてはニーズ調査を行い、よりご利用者のニーズにお応えが出来るような取り組みを行い、満足度の向上を図っていけるよう努めてまいります。

② 働きやすい環境づくり

年間2回実施した業務改善アンケートにおいて、「職員連携」が課題として挙げられました。「職員連携」について、年度途中よりスタッフリーダーが不在となりこれまで出来ていたこと（情報発信・共有）が上手く回らなくなるといったジレンマが発生しました。誰かひとりに頼ってしまっていた現状が明るみになったため、この体制を見直し、全員が正しい内容を正しく伝達できるよう意識し取り組んで参りました。また、不在の職員にも情報が伝わるよう記録へ確実に残すこと、記録の残し方、記録を確

認できる仕組み等、基礎的なことから見直しを進めました。まだ、完璧と言える状況ではありませんが、課題の抽出、それに向けた具体的な取り組みを実行している最中です。この内容を改善するだけでは、働きやすい環境づくりになったとは言い難いかもかもしれませんが、まずはこのような基礎的なことを確実に高めていくことに注力して参りました。

2026年度においても、各職員の意見を真摯に受け止め「働きやすい環境づくり」が実現出来るよう努めて参ります。

③ 安定した事業運営について

2025年度、新規契約者1名、退所者（他事業所へ異動）3名となっております。退所者に関しては、ご自宅から近い事業所やステップアップを加味しての異動となっており、ネガティブな内容での退所とはなっておりません。2026年度から3名のご利用者と新規契約を結んでおり、稼働率を下げることなく事業運営が出来ることとなっております。この3名の方に関しては、いずれも支援学校卒業生であり、「職員が優しい」「作業が合っている」「雰囲気が好き」といった理由で選んでいただいております。今後も特色や立地の良さ、職員の立ち振る舞い、雰囲気等選んでいただける理由を多く持てるよう、指導や改善に努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数（月：定員20名） （単位：名）

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	348	354	374	395	319	339	397	357	365	346	299	355	4248	

(2) 利用（開所）状況 （単位：日）

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00													
終了時間	15:00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	
													262	

(3) 職員の状況（2026年3月31日現在） （単位：名）

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※1)	1(※1)		3		4
非常勤職員			1	3(※2)	2(※2)	4

※1 管理者、サービス管理責任者兼務

※2 非常勤職員1名、生活支援員、目標工賃達成指導員兼務

(4) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A勤：9：00～17：00 7時間（60分休憩）

B勤：8：00～17：00 6時間（45分休憩）

C勤：9：45～15：30 5.5時間（15分休憩）

D勤：9：30～15：45 6時間（15分休憩）

E勤：8：30～15：30 6時間（60分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	親睦会（レクリエーション、さくら弁当）
5月	就労部門合同ボウリング大会（アミパラ、レクリエーション、こがねちゃん弁当） 避難訓練（火災）
6月	美観地区散策（グループ別、神戸屋、ICHIGO WORKS たい焼き）
7月	羽島合同行事（カラフルと合同） 避難訓練（水害）
8月	美観地区散策（グループ別、神戸屋、ICHIGO WORKS たい焼き）
9月	おたのしみ弁当（亀山飯店）
10月	就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング） 避難訓練（地震）
11月	おたのしみ弁当（フリアキッチン、パン購入：カラフルと合同）
12月	クリスマス会（カラオケ外出）
1月	おたのしみ弁当（手作り工房まこと） 避難訓練（防犯）
2月	恵方巻づくり
3月	就労部門合同おつかれさま会（法人研修棟） おたのしみ弁当（こがねちゃん弁当）

4. 施設整備

① キッチンカー購入（スズキ エブリィ） 2025年9月1日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	500,000	施設設備等による支出	500,000
計	500,000	計	500,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2024年度の満足度調査では、「行事内容」や「工賃向上」の意見が多く挙がっており、「行事内容」に関しては、一日を通してのバス旅行の実施や外出行事の機会も増やしました。参加されたご利用者からは、「楽しかった」「県外までは普段行けないから嬉しかった」等、喜びの声を多く聞くことができました。また、就労部門合同行事にも積極的に参加を呼びかけ、多くの方に参加していただきました。「工賃向上」に関しては、午前と午後の作業内容を変えることで集中力が途切れないように配慮を行いました。ご利用者に作業内容を説明した上で、「やりたい作業」「興味のある作業」「やりたくない作業」について聞き取りを行い、ご利用者のニーズを把握するとともに、新たな作業に取り組む機会を提供しました。新しい作業が定着するまで一対一で支援し、仕上がりの確認を個別で丁寧に振り返りを行うことで、作業スキル向上にもつながりました。新しい作業に取り組むことで作業への楽しさを感じられたり、仕上がりを褒められることで作業意欲につながったりしていると感じます。また、施設外就労作業として9月より「倉敷ふれあいの丘公園」の定期清掃の開始や、部門内のB型事業所と共同で清掃作業を実施する等、新たな作業にも挑戦しました。結果として、平均工賃月額についても、昨年度の工賃額15,116円を上回り、2025年度は20,321円でした。今後もご利用者の作業意欲を上げられるよう支援を行って参ります。

② 働きやすい環境づくり

事業所が楽しく、働きやすい環境へと成長できるよう、職員を対象に業務改善についてのアンケートを年に2回実施し、現場職員の意見を吸い上げ、環境改善を行いました。6月のアンケートでは、「職員同士の報連相がうまく回っていない」「情報共有が上手くいかず支援方法にずれがある」との意見があり、働きにくさを抱えている職員が見られました。そのため、職員同士のコミュニケーションと報連相の強化に向けて取り組んできました。終礼時に職員同士が意見交換できる時間の確保、職員会議にて業務改善を検討する時間の確保、申し送り帳の様式変更等、必要な情報が共有しやすい仕組み作りを行いました。また、職員がどのような気持ちで日々の業務を行っているのかを知るため、職員面談を毎月実施しました。その結果、年末のアンケートでは、「意見を言いやすい」「連携が回れている」の設問に対してマイナスの回答は無くなり、「働きやすくなった」との意見が聞かれました。今後も意見交換できる時間を大切に、働きやすい職場づくりに努めて参ります。

③ 安定した事業運営について

相談支援事業所等の関係機関に営業を行いながら、半日送迎の対応や毎月の行事実施、行事の際は追加利用の受け入れを行い稼働率の向上に繋がるように努めましたが、年間平均の稼働率が72.6%となっており、目標とする稼働率85%には大きく届きませんでした。要因として、ご利用者の3分の2が50代後半～70代であり、体力低下により週の中休みを希望される方が増え、加えて通院や入院等で定期的な休みが増えたことが挙げられます。2025年度の新規利用者は4名、利用修了者は2名でした。1名は体調不良の為、1名は事業所に馴染めなかった為、利用終了となっています。相談員からの声を聞き、選ばれる事業所作りに努めて参ります。2026年度も契約者の安定した利用を図ることと、新規利用者の積極的確保を行い、稼働率の安定を図って参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員20名) (単位：名)

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	287	309	323	323	304	312	325	316	326	339	301	341	3806	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2026年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1	1	1	1	5
非常勤職員			1	1		2

※管理者は、ワークスめやす箱管理者と兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

- A勤：8:00～17:00 8時間(60分休憩)
- B勤：7:45～16:45 8時間(60分休憩)
- C勤：8:30～16:15 7時間(45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	外出活動(散策)
5月	誕生日会(4.5.6月生まれ)・避難訓練(水害)

6月	外出活動(ボーリング)
7月	室内レクレーション(七夕)
8月	誕生日会(7.8.9月生まれ)
9月	室内レクレーション(ミニ運動会)・避難訓練(震災)
10月	外食活動(すたみな太郎)
11月	誕生日会(10.11.12月)
12月	室内レクレーション(DVD 観賞会)
1月	外出行事(初詣)・避難訓練(不審者)
2月	室内レクレーション(福笑い)、誕生日会(1.2.3月生まれ)
3月	外出行事(花見)

4. 施設整備

① 公用車購入 2026年3月4日

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	977,650	車両運搬具取得支出	977,650
計	977,650	計	977,650

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2025年度は農福連携に力を入れ、新たに桃農家との契約を交わしました。除草や桃の袋掛けといった桃農家でしかできないような体験をすることができ、利用者のやりがいや満足度向上に繋がりました。また、企業農家からの作業依頼も増え、苗箱の洗浄、もみ殻の袋詰め、藁回収など様々な作業に取り組むことができました。その結果、農副連携における作業収入が全体収入の12.1%（8.4%：2024年度）に向上しています。2026年度も継続して農副連携を強化し、満足度と工賃の向上に繋げて参ります。他の施設外就労では新たに、リサイクルショップの家具清掃、ふれあいの丘公園のトイレ清掃に取り組みました。地域に根差した活動を通して、利用者の作業スキルや社会性の向上に繋がっています。

また、利用者発信より「折り紙で作ったストラップ」制作を進め、地域のイベントやマルシェにて販売を行っています。「どんな商品なら売れ行きが良いか」「他に販売できるイベントは無いかなど、制作・販売を通して、利用者と意見交換をする機会が増えました。まずは、商品を認知していただくとともに、生産性の向上や商品改良を重ね、収益が安定するよう運営していきます。

② 働きやすい環境づくり

職員を対象に業務改善アンケートを実施し、事業所における課題の抽出を行っています。アンケートの結果、「利用者支援の難しさ」や「職員によって情報に差がある」といった意見が挙がり、面談を通して課題の核となる部分を共有し、職員と共に改善策を検討しています。「利用者支援の難しさ」については、自閉スペクトラム症や発達障害の理解を深めるため、職員会議で勉強会を実施しています。

「職員によって情報に差がある」の意見に対しては、共有事項があれば終礼で発信することを徹底、行事等の案内は、事前に担当から職員に内容を周知した上で配布することを徹底しています。

また、職員発信から施設外就労における熱中症対策としてファンベストの購入、農作業における粉塵対策としてゴーグルを購入しています。今後も継続して安全に作業が実施できるよう、職員の意見を抽出し環境設定と備品購入を進めて参ります。

③ 安定した事業運営について

2025年度は、新規利用者を3名受け入れ、退所者が1名となりました。支援学校実習生の受け入れを積極的に行い、2名がつむぎを進路先として希望されています。また、他事業所からつむぎへの移行を希望する方が1名おられ、2026年4月には新規の契約者が3名となり、20名定員に達する見込みで

す。新規利用者が新しい環境での生活に慣れていただけるよう、支援と環境を整えていくとともに、つむぎを利用していただいている方により良い支援と作業環境を提供できるように、利用者の意見や要望に耳を傾け、職員一丸となってサービスの質向上に努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	388	376	386	402	333	360	381	348	374	370	344	368	4430	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2026年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※1)	1(※1)	1	1		4
非常勤職員				3(※2)	2(※2)	5

※1 管理者、サービス管理責任者兼務

※2 生活支援員、目標工賃達成指導員兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

A勤：7：45～16：45 8時間(60分休憩)

B勤：8：00～17：00 8時間(60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見(水島中央公園)
5月	就労部門合同ボウリング大会 避難訓練(火災)
6月	グループ外出：買い物・外食(イオンモール倉敷)
7月	避難訓練(水害)
8月	納涼会
9月	レクリエーション会
10月	就労部門合同スポーツ大会(ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング)

	避難訓練（震災）
11月	グループ外出：買い物・外食（イオンモール倉敷）
12月	クリスマス会
1月	初詣・書初め 避難訓練（不審者）
2月	グループ外出：いちご狩り（農マル園芸）
3月	茶話会 就労部門合同おつかれさま会（ハーバリウム体験）

4. 施設整備

① 公用車（ノア）購入 2026年1月17日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	930,000	器具及備品取得支出	930,000
計	930,000	計	930,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・ご家族の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 就労部門の特色強化 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記 3 つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・ご家族のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 就労部門の特色強化について

2025 年度においては、「工賃向上」、「ニーズの充足」が要望として挙げられました。工賃向上については、施設外就労として農作業への積極的な参加を行ってまいりました。農作業への参加は 2 年目に入り、収穫や枝の剪定、出荷作業など専門的な作業にも関わる機会をいただき、工賃向上のみではなくご利用者の達成感、活躍の場の拡大などに繋げることが出来ました。また、規格外農産物の加工に着手し、付加価値をつけて販売を行うことで、更なる収益の向上を目指して取り組んでいます。さらに冬季からは耕作放棄地を活用した就農の計画も進めており、農業を軸とした活動の幅の拡大、工賃向上の取り組みは 2026 年度以降も進めてまいります。自社製品として染物作業を行ってまいりました。地域のイベント販売に積極的に参加をすることで、安定した収入が得られるようになってきています。また、地域よりブランド認定をいただくことで、地域との繋がりの強化も実現出来ました。今後は地域とも連携をしながら、地域貢献も視野に入れた活動になるよう取り組んでまいります。それらの取り組みの結果、2025 年度の目標平均工賃 15,000 円を上回ることが出来ました。2026 年度はご利用者のスキルアップに向けた支援や地域での役割を作っていくながら、工賃向上に繋がるよう努めてまいります。「ニーズの充足」については、ご利用者の趣向に合わせた内容を企画、実施してまいりました。参加された皆様からは「楽しかった」、「来年もしてもらいたい」といった返答をいただくことが出来ました。また就労部門合同のイベント等も大変好評を得られました。2026 年度においてはニーズ調査を行い、よりご利用者のニーズにお応えが出来るような取り組みを行い、満足度の向上を図っていきけるよう努めてまいります。

② 働きやすい環境づくり

年間 2 回実施した業務改善アンケートにおいて、「職員連携」、「業務改善」が課題として挙げられました。「職員連携」については、終礼、会議など情報共有の場で丁寧な議論を行うことで、情報の相違がないよう努めてまいりました。利用者支援に関する内容については、個別支援計画作成時の担当者会議にて、支援内容の共有、疑問点等の解消を行うことで統一した支援を行うことが出来るよう努めました。作業支援における情報共有としては、職員会議にて KJ 法を用いて議論を行うことで、現状の課題抽出や、具体的な方向性を決めました。いつ、誰が、何を、どのように取り組むのかを具体的に定めることで、職員間で風通しの良い議論が増えてきています。業務改善については、職員の不足から業務の

負担を感じられているという点が課題とされてきました。下半期には職員の入職があり、各職員の負担軽減につながっています。それに加えて、会議の場などでは積極的に発言の場を設け、他職員の業務や担当についても自分事として、周囲を巻き込んで課題を解決できるよう努めてまいりました。2026年度においても、各職員の考えるワークライフバランスに考慮をしながら、働きがいを感じながら勤め続けられる事業所作りを行ってまいります。

③ 安定した事業運営について

2025年度においては、相談支援事業所や支援学校への営業活動を行うことで、2025年度中に4名、2026年度以降に6名の新規契約を結ぶことが出来ました。しかしながら3名の方が退所となり、定着に向けた支援が課題となっております。ご利用者が安全に過ごすことが出来る環境や、コミュニケーションの機会を増加させることで、信頼関係の構築が出来るよう努めてまいりました。相談支援事業所や支援学校への営業活動については、適宜、ご利用者やご家族について情報共有を行うことで信頼関係を構築できるよう努めてまいりました。支援学校からは次年度の実習にも繋がっているケースもあるため、今後も引き続き良好な関係を続けていけるよう努めてまいります。2026年度においては、よりニーズの充足を図れるようニーズ調査を実施し、自己実現への支援の充実、事業所への来所が楽しみになるような事業所づくりを行ってまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2025年										2026年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	269	281	256	280	239	261	288	263	260	255	251	275	3,178	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2025年										2026年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	23	23	22	24	21	21	24	24	22	22	20	23	269	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2026年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)		2	1	4
非常勤職員			1	1		2

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

A勤：7：00～16：00 8時間（60分休憩）

B勤：8：00～17：00 6時間（45分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見（ふなおワイナリー）
5月	一周年記念イベント：事業所内で染物体験 就労部門合同ボウリング大会(アミパラ)
6月	カラオケ大会：事業所内で実施
7月	花いっぱい活動：事業所内で花壇等への花植えを実施
8月	夏祭り：事業所内で会食(焼きそば、かき氷など)、製作活動を実施
9月	消防署見学(倉敷消防署)
10月	就労部門合同スポーツ大会（ボッチャ、フライングディスク、ウォーキング）
11月	食事会：田舎や 徳膳にて実施
12月	忘年会：事業所内で茶話会、ビンゴゲームを実施
1月	初詣、書初めを実施
2月	ボウリング大会(アミパラ)
3月	ランチ会：事業所で会食を実施 就労部門合同おつかれさま会(法人研修棟)

4. 施設整備

① 下水道工事 2025年9月17日～11月17日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	1,485,000	施設設備等による支出	1,485,000
計	1,485,000	計	1,485,000

② 公用車購入 2026年2月20日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	986,310	車輛運搬具取得支出	986,310
計	986,310	計	986,310

2025年度 ワークスめやす箱 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
延べ利用者数 (単位:名)	297	310	306	320	268	280	307	299	280	310	252	307	3,536
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	13.5	14.1	13.9	13.9	12.8	13.3	13.3	13.6	12.7	14.1	12.6	14.0	13
稼働率 (単位:%)	67.5%	70.5%	69.5%	69.6%	63.8%	66.7%	66.7%	68.0%	63.6%	70.5%	63.0%	69.8%	67%
待機登録者数 (単位:名)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	

2025年度 コンパス 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
延べ利用者数 (単位:名)	362	350	371	391	350	359	359	357	370	369	333	371	4,342
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	16.5	15.9	16.9	17.0	16.7	17.1	15.6	16.2	16.8	16.8	16.7	16.9	16.57
稼働率 (単位:%)	82.3%	79.5%	84.3%	85.0%	83.3%	85.5%	78.0%	81.1%	84.1%	83.9%	83.3%	84.3%	82.9%
待機登録者数 (単位:名)													

2025年度 就労センターかなで 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	20	21	21	21	21	21	21	21	21	20	19	19	
延べ利用者数 (単位:名)	348	354	374	395	319	339	397	357	365	346	299	355	4,248
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	15.8	16.1	17.0	17.2	15.2	16.1	17.3	16.2	16.6	15.7	15.0	16.1	16.2
稼働率 (単位:%)	79.1%	80.5%	85.0%	85.9%	76.0%	80.7%	86.3%	81.1%	83.0%	78.6%	74.8%	80.7%	81.0%
待機登録者数 (単位:名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2025年度 就労支援 はれる 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	19	19	19	20	20	20	20	19	20	20	20	20	
延べ利用者数 (単位:名)	287	309	323	323	304	312	324	316	326	338	301	341	3,804
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	13.0	14.0	14.7	14.0	14.5	14.9	14.1	14.4	14.8	15.4	15.1	15.5	14.52
稼働率 (単位:%)	65.2%	70.2%	73.4%	70.2%	72.4%	74.3%	70.4%	71.8%	74.1%	76.8%	75.3%	77.5%	73%
待機登録者数 (単位:名)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	

